

B. 滅失船舶遺難原因別

年次	隻	噸	沈没	衝突	其他	合計
明治三十九年	6	80	1	1	4	6
同四十一年	9	95	1	1	7	9
同四十二年	6	60	1	1	4	6
同四十三年	2	100	1	1	0	2
大正四年	6	100	1	1	4	6
同五年	6	100	1	1	4	6

C. 自明治三十三年至同四十二年 海難(失踪を含む)により抹消登録をなしたる登録船舶数

年次	隻	噸	前年未現在船舶	百分率
明治三十三年	28	2,250	2,250	100
同三十五年	26	2,100	2,100	93.3
同三十七年	25	2,100	2,100	90.9
同三十九年	22	1,800	1,800	81.8
同四十一年	21	1,700	1,700	77.3
同四十二年	20	1,600	1,600	72.7
大正四年	20	1,600	1,600	72.7
同五年	20	1,600	1,600	72.7

三、開戦以来敵潛航艇に依る遭難船 (第六表) (大正六年十一月末日迄)

船名	噸	沈没年月日	船名	噸	沈没年月日
八廣丸	4,962	四年一月三日	宮崎丸	7,891	六年五月三〇日
八廣丸	1,932	四年二月二日	唐山丸	2,426	六年六月
八廣丸	3,233	四年二月九日	印度洋丸	2,143	六年六月
八廣丸	3,091	五年六月二日	神戶丸	3,322	六年七月二日
八廣丸	3,040	五年八月二日	信貴丸	3,083	六年七月六日
八廣丸	3,324	五年八月二日	影代丸	4,566	六年七月八日
八廣丸	3,324	五年八月二日	山丸	3,919	六年八月二日
八廣丸	3,324	五年八月二日	寄丸	3,554	六年八月二日
八廣丸	3,324	五年八月二日	生丸	3,756	六年八月二日
八廣丸	3,324	五年八月二日	千丸	3,047	同
八廣丸	3,324	五年八月二日	外丸	3,047	同
八廣丸	3,324	五年八月二日	以上二十四隻	4,535	同
八廣丸	3,324	五年八月二日	此噸數九〇,三〇噸		

(三) 總括

以上を綜合するに本邦船舶の増減に影響すべき事項は (一)内地造船 (二)外國船の輸入 (三)本邦船の輸出 (四)滅失船の四なりとす。而して内地造船高は從來約五萬噸に達したるも開戦後長足の發展を來し今や材料に許さば四十萬噸の造船可能なるに至りぬ。